

波かべの家

wave wall house

浜辺にコンクリートブロックでできた海の家を考えました
 コンクリートブロックでできていながらやわらかなカーテンのようにゆるやかに曲げられた壁は控壁をなくしても自立する構造です
 高潮などの際に波の力を受け流しやすいよう2~4mごとに分節された壁は、屋根下の空間をゆるやかに区切り、さまざまな人びとの活動を支えます
 透かし積みすることで空いた小さな穴からはやわらかな風と光が入り込み、海で遊ぶ人びとがおもいおもいに憩う場をつくりたいです
 浜辺の風景に溶け込みながら海のようにおおらかに人びとを守る海の家

04 波を受け流すかたち



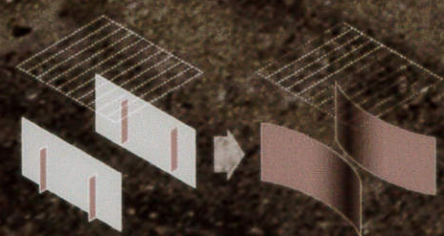
plan 1:50

01 自立する壁

02 コンクリートブロック曲面透かし積

03 隙間を活かした屋根と家具のつくりかた

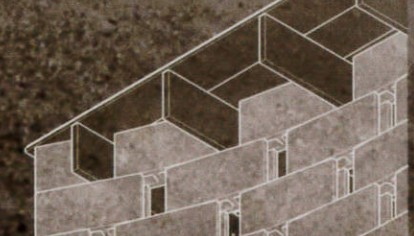
05 光と風を取り入れる



壁が自立するために必要な控壁



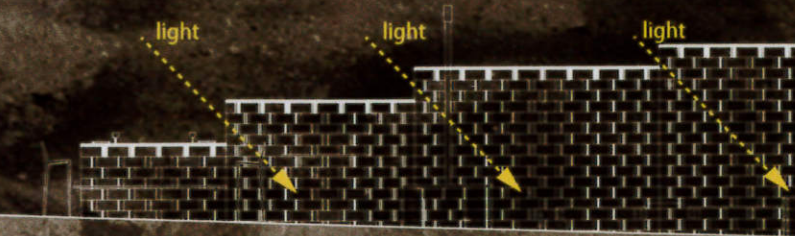
壁自体を曲げることで壁の強度を高める



既成の穴を使い鉄筋を回転軸として曲面をつくる



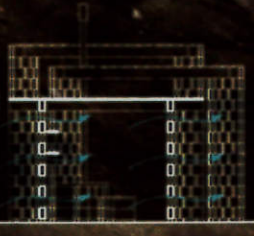
コンクリートブロックの隙間に垂木を挟み、更新しやすくする。そのため木製の屋根とした。



コンクリートブロックの隙間から持ち出し、造作家具の下地とする



section 1:100



section 1:100